

2026 年 9 月 14 日

各 位

THE WHY HOW DO COMPANY 株式会社
代表取締役社長 亀田 信吾
(コード番号：3823 東証スタンダード)
問合せ先：取締役副社長 橋本 直樹
電話番号：(03) 4405-5460

「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載解消に関するお知らせ

当社は、本日公表いたしました「2027 年 4 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社グループは、2009 年 8 月期以降、2018 年 8 月期を除き営業損失を計上する状況が続いたため、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在するものとして、決算短信及び有価証券報告書において「継続企業の前提に関する重要事象等」を記載してまいりました。

そこで、当社といたしましては、種々の方途を講じて収益基盤の確立と財務基盤の改善に取り組んでまいりましたが、2024 年 9 月に至り、当社の事業戦略の中核に M&A を置いて取り組んでいくことを役員会の総意として決定し、以降これを具体的に推進してまいりました。

当社が取り組む M&A は、後継者不足を背景とする事業承継のニーズに応えるものであり、業種を限定せず、売却を前提としない長期保有を原則としたうえで、取得後の PMI（買収後統合）及びバリューアップにより企業価値の向上を図るものであります。2025 年 7 月に亀田信吾が執行役員社長 CEO に、2025 年 11 月に代表取締役社長に就任し、M&A 戦略本部及び AI バリューアップ本部を新設するなど、成長加速に向けた新体制を構築いたしました。代表取締役会長 田邊勝己及び代表取締役社長 亀田信吾を中心とする現在の経営体制のもと、前連結会計年度においては、株式会社スティールアン、株式会社グッドマン、飯山土建株式会社、株式会社コーウェル及び日本純金行株式会社の 5 社が新たに当社グループに加わっております。これらを含む当社グループの事業会社 12 社は、当第 1 四半期連結累計期間においてそのすべてが営業黒字となっており、特定の一社に依存しない収益構造となっております。

この結果、本日公表いたしました「2027 年 4 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において、売上高 1,674 百万円（前年同四半期比 107.6%増）、営業利益 91 百万円、経常利益 77 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益 37 百万円となり、営業損益から最終損益に至るまでのすべての段階で黒字を確保いたしました。また、営業利益に減価償却費、引当金繰入額、他勘定受入高、のれん及び無形資産の償却費並びに M&A 関連費用を加えた調整後 EBITDA は 165 百万円となっております。財政状態につきましても、自己資本比率は前連結会計年度末の 28.9%から 32.4%に改善し、現金及び預金の残高は 1,435 百万円を確保しております。

以上の状況を総合的に勘案し監査法人との協議・検討を経た結果、現時点において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は存在しないものと判断し、「継続企業の前提に関する重要事象等」の記載を解消することといたしました。

株主、投資家の皆様をはじめ関係者の皆様には、長きにわたりご心配をおかけいたしましたので、今後も継続的な利益の確保と企業価値の一層の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以 上